白さぎ

2024.3.1　No. 55

発　　行　2024年3月1日
発 行 所　公益社団法人関西吟詩文化協会承認白鷺連合会
発行責任者　大 取 鷲 照
編集責任者　塩 路 澄 誠

題字／西野楊郷

目　　次　　白さぎ55号

■ 巻 頭 言　　会　　長〈大取鷲照〉…… 2
■ 令和６年　白鷺新年互礼会　開催 …… 2
■ 令和５年度　総会報告（実態調査結果等）…… 3
■ 展　　望　　副 会 長 〈古賀戍孝〉…… 4
■ 第62回　白さぎ吟詠の集い競吟大会の結果 …… 5
■ 白鷺から関西吟詩全国指導者級吟士権者連覇誕生す！ …… 7
■ 関吟総本部主催全国競吟大会に於ける白鷺会員の結果 …… 8
■ 令和5年　白鷺吟行会・浜松大会開催される …… 9
■ 公認・鷺伸吟詠会創立60周年記念祝賀会開催される ……11
■ 公認・攝友会創立65周年記念吟詠大会開催される ……13
■ 公認・岳豊会創立20周年記念吟詩大会開催される ……14
■ シリーズ　教室探訪コーナー
　青誠会大阪中央支部　　広 報 部 〈福永洋恵〉 ……15
■ 史跡探訪の旅
　広 報 部 〈天田澄慈〉 ……16
■ 女性部だより　　第22回白さぎ女性部吟詠大会報告
　女性部長 〈井上容声〉 ……17
■ 青年部だより　　第56回白さぎ青年部吟詠大会報告
　青年部員 〈藤山澄玄〉 ……19
■ 白鷺連合会組織系統一覧 ……21
■ 仲よく楽しく健やかに、そして一語一縁吟の輪を広げていこう
　協賛広告　　本年もよろしくお願いします ……22
■ 編集後記 ……24
■ 行事予定 ……24

巻頭言

ご　挨　拶

白鷺連合会

会　長　**大　取　鷲　照**

「梅一輪 一輪ほどの あたたかさ」服部嵐雪

日ごとに暖かくなってまいりましたが、白鷺の会員の皆様、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今年は年頭から能登半島の地震により、多くの方が被災されました。一日も早い復興ができますようお祈り申し上げます。

さて、昨年は総本部90周年大会が成功裡に実施されました。白鷺の会員の皆さんも全国から多数参加していただき、会を盛り上げていただきました。感謝申し上げます。今年は甲辰（きのえ・たつ)年、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」縁起の良い年と言われています。登り竜のように勢いよく頑張っていきましょう。

まずは、楽しい教室作りに、そして一語一縁周りの人に声をかけて吟友を増やしていきましょう。

4月には競吟大会、5月総会、8月青年部&交流会、来年1月新年互例会と行事を実施する予定です。ご支援ご協力よろしくお願いいたします。

また、今年新しい取り組みで、哲友会と白鷺の競吟大会で相互に審査員の派遣をしあう交流を行います。総本部承認会としてお互い切磋琢磨し、交流を深めながら関西吟詩活動の発展に尽くしていこうと発案されたものです。

最後に、今年もおやさぎ故伊豆丸鷺洲先生の遺訓「和と奉仕の精神」「感謝する心」を継承し、「仲よく楽しく健やかに、そして一語一縁吟の輪を広げていこう」というスローガンのもと前向きに前進していきましょう。よろしくお願い致します。

令和６年　白鷺連合会新年互礼会開催される☆

令和6年1月7日（日）は、白鷺連合会新年互礼会でした。昨年と同じく、ホテルプラザ大阪（十三）19階で開催されました。

12時から同会場で常任理事会が執り行われ、続いて14時からの新年互礼会に白鷺の仲間が集まりました。セレモニー終えて、声高々に乾杯を交し合い、暫し歓談の後、恒例のテーブルごとのカラオケ大会です。

今年の辰年にちなんで、昇り龍の躍進の年にしたいという白鷺会員の思いが結集した楽しい互礼会でした

令和５年度「白鷺連合会総会」開催される☆

日時：令和５年５月６日（土）午後０時から常任理事会
同日　　午後２時から白鷺理事総会
場所：海老江西コミュニティセンター

令和５年度は、昨年度新任・再任された常任理事役員構成で運営されています。

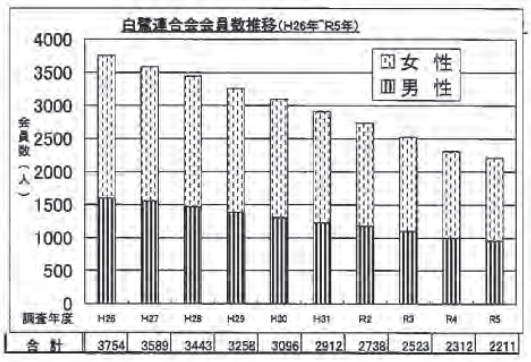
令和５年度常任理事役員　（敬称略）

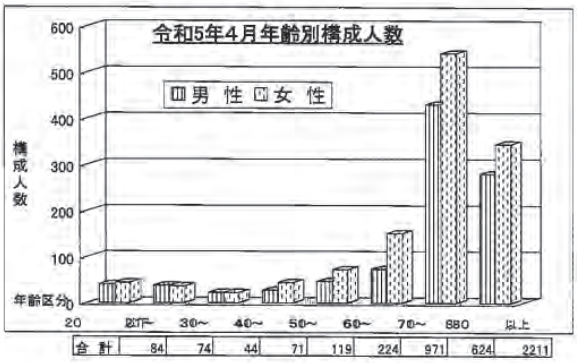
会　長	大取鷲照	副会長	小井鶴伸
副会長	飯田報鷲	副会長	岡田岳遙
副会長	岩間鵠声	副会長	酒井翔恵
副会長	中谷淞苑	副会長	古賀戉孝
総務局長	岩間鵠声	総務局次長	小平秋紅
総務局次長	森　璽声	総務部長	谷澤暁声
事業企画部長	古賀戉孝	財務部長	児玉登春
広報部長	塩路澄誠	HP管理部長	塩路澄誠
女性部長	井上容声	青年部長	中岡蒼狼声
会計監査	加藤扇郊	会計監査	佐川駿声

※令和５年度の議案書からの抜粋です。
白鷺総会次第・令和４年度行事経過報告
令和４年度事業経過・令和５年度事業計画
R5白鷺行事2023.5.6

※議案内容はこちらのQRコードをQRリーダーで読み取りして確認ください。☞

白鷺会員数推移





調査年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
男性	1599	1558	1472	1388	1309	1233	1181	1103	1000	956
女性	2155	2031	1971	1870	1787	1679	1557	1420	1312	1255
合計	3754	3589	3443	3258	3096	2912	2738	2523	2312	**2211**

年齢区分	20以下	21～	31～	41～	51～	61～	71～	81以上	合計
男　性	40	38	22	27	47	73	430	280	956
女　性	44	36	22	44	72	151	541	344	1255
合　計	84	74	44	71	119	224	971	624	**2211**

展望

白さぎのこれから

副会長
兼事業企画部長
古賀成孝

令和6年が明けて。世界は天変地異、戦争と激動が続き破滅に向かうかと思える昨今。関係堅密化を進める中国とロシア、北朝鮮、イランに対し日本と米欧は連携を強め自由陣営を守り通せるか。試金石はウクライナ。ウクライナを敗北させ、ロシアに勝たせてはならないとする米は支援するする予算も通せないでいる。弱い国の運命はさらに厳しさを増すと思われる。

日本にとってもひとごとではない。

国内は大波乱の辰年幕開けになりました。

令和6年1月元旦16時10分、能登半島地震は石清水八幡宮参拝中の境内で知る。多くの被害に救済と安否確認捜索が続いている。被災者の事を思うと29年前の阪神淡路大震災を思い起こし心が痛む。一日も早く穏やかな日々が戻りますよう祈ります。今や災害は覚えているうちにやって来る。

さて、白さぎはこれから・・・「新年互礼会」は令和6年1月7日（日）ホテルプラザオーサカにてひさしぶりにマスクとマイクカバー他の制約のない、64名の参加で開催し盛況であったように思う。会場は一年前に予約し、参加費はアップの8,000円での案内時、参加者減の不安はありましたが、総務部と事業企画部との連携で無事終えることが出来ました。

次回の令和7年1月12日（日）予約完了。「第63回白さぎ吟詠の集い競吟大会」は1年前の令和5年4月5日と6日に日付が変って0時過ぎにネット予約し会場確保。令和6年4月5日（金）前日準備、6日（土）開催で参加人数320名（R5.12.27現在）当日役員92名（出吟者含む）

第1回の実行委員会は令和5年9月16日（土）から立ち上げて23名のボランティアの実行委員で進められている。２月には、酒井翔恵実行委員長と会場・尼崎エーリックへ会場設営打合せと経費高騰の折の見積交渉予定。

第64回吟詠の集い競吟大会（令和7年4月5日（土）が開催であれば令和6年の同月同日の日付が変わる深夜の予約になる。

しかし、第63回大会が赤字になれば大会継続の有無を検討することになります。

「青年部大会」青年部は会場の抽選確保に苦慮している。平均年齢も上がり、青年部員数が減少して、会場設営・後片付け負担もある。大きいところは大会参加者数の減少がある。

「白さぎ交流会」も令和4年・60周年記念大会、令和5年・浜松吟行会と続いたので、令和6年度は開催予定年であるが、これまでは事業企画部で企画立案し、遠隔地交通費補助（今後は出せない）の工面をし、会場予約確保し、飲食準備をし、会場（テーブル椅子のレイアウト復元)後片付け(ゴミの片づけ)までしていた。等々を鑑みると。

事業企画提案として「青年部大会」と「白さぎ交流会」を合わせて、「青年部&交流会（仮称）」を提案。常任理事会で承認され、令和6年8月4日（日）ホテルプラザオーサカで開催予定。それぞれの大会はまず会場確保（抽選対応ではなく一年前予約）財政の厳しい現状を踏まえ、独立採算を旨とし会費制とし、高齢実行委員の負担を軽減した大会運営にしなければと後期高齢者の私は思います。

第６２回　白さぎ吟詠の集い競吟大会の結果

※コロナ禍で３年間中止になっていた本大会です。令和５年4月１日（日）久々の上記大会が開催されました。
本年の会場は尼崎エーリック。久々に懐かしい顔ぶれが集まり、元気をいただきました。
日頃の精進の成果を発表するとともに、会員相互の交流を深めた一日となりました。

各部の成績は次の通りです。（以下敬称略）

最上級の部＜大阪府知事杯・伊豆丸鷺洲杯＞

優　勝　岡田　正和（鷺照吟詠会）
準優勝　内座由紀葉（鷺照吟詠会）
第３位　尾上美千恵（志舟会）
第４位　鈴木　一子（鷺照吟詠会）
第５位　伊藤　繁子（攝友会）
第６位　福井スミエ（青誠会）

上級の部＜大阪市長杯・塩谷鷺声杯＞

優　勝　伊藤　利博（鷺伸吟詠会）
準優勝　川根　幾恵（鷺照吟詠会）
第３位　佐藤　昌子（鷺照吟詠会）
第４位　田路　唯司（青誠会）
第５位　菅沼　裕行（浜松鷺長会）

新人の部＜佐藤鷺照杯＞

優　勝　中島恵利子（岳豊会日高）
準優勝　中塚　聖子（鷺恵会）
第３位　中島　邦子（青誠会）
第４位　堀江　浩美（鷺伸吟詠会）

初段の部＜井上鷺孝杯＞

優　勝　上田　忠司（船場吟詠会）
準優勝　大谷　尚子（攝友会）

弐段の部＜松尾鷺恵杯＞

優　勝　増田　直樹（岳豊会豊岡）
準優勝　近藤ぬい子（鷺伸吟詠会）
第３位　松尾　昌昭（青誠会）
第４位　吹野　忠司（鷺声吟詠会）

参段の部＜読売新聞大阪本社杯＞

優　勝　齊藤　二生（春鷺声栄会）
準優勝　中尾　　恵（鷺照吟詠会)
第３位　青木　朝紀（鷺照吟詠会）
第４位　辻村　逸江（鷺迪吟詠会）
第５位　菊川　泰博（鷺舟会）

壮年①の部＜伊東鷺伸杯＞

優　勝　西澤　　格（鷺迪吟詠会）
準優勝　小田　和子（鷺迪吟詠会）
第３位　嘉久　雄才（鷺郷吟詩会）
第４位　長　伊玖子（攝友会）
第５位　佐野川谷成子（淞苑会）

壮年②の部＜安田鷺迪杯＞

優　勝　川相　　均（鷺迪吟詠会）
準優勝　長谷川信行（鷺郷吟詩会）
第３位　北尾　正樹（鷺声吟詠会）
第４位　植木　厚子（青誠会）
第５位　幾川　正恵（天理吟詠会）

壮年③の部＜松尾岳豊杯＞

優　勝　村岡　正明（攝友会）
準優勝　関　　政子（鷺恵会)
第３位　山川百合子（鷺迪吟詠会)
第４位　山口　當子（攝友会）
第５位　中野　清子（攝友会）

傘寿①の部

優　勝　田村　昭良（青誠会）
準優勝　西出　盛藏（鷺恵会）
第３位　戸田　久子（岳豊会日高）

傘寿②の部

優　勝　佐田　保朋（攝友会）
準優勝　田房　喜朋（澄声会）
第３位　竹谷　靖雄（双仟吟詠会）
第４位　棚田　公夫（鷺照吟詠会）
第５位　岡田　江笠（岳豊会出石但東）

和歌の部＜植村鷺登杯＞

優　勝　重光　弘子（広島鷺夕会）
準優勝　森　佳奈子（攝友会）
第３位　森下ふで子（浜松鷺長会）
第４位　榎　　礼子（広島鷺夕会）

合吟の部

優　勝　川根　幾恵ほか（鷺照吟詠会）

準優勝　田中美恵子ほか（岳豊会日高)

年少の部

奨励賞　　笠井　航輔（攝友会)

※以下、各部ごとの入賞者をお知らせ　します☆

【上級の部　一般入賞者】

坂田眞奈美（船場吟詠会）

中岡　克典（鷺声吟詠会）

真下　幸信（攝友会）

和田　彩香（攝友会）

吉川左和子（鷺舟会）

今井富佐代（岳豊会出石但東）

服部　幸子（鷺伸吟詠会）

【最上級の部（一）一般入賞者】

為貴　健司（青誠会）

森　　民子（鷺声吟詠会）次点

上中いつみ（春鷺声栄会）

【最上級の部（二）一般入賞者】

剣持　和江（鷺照吟詠会）

平岡　　譲（攝友会）次点

壮年の部①＜入賞者＞

船瀬珠理子　（鷺伸吟詠会）

壮年の部②＜入賞者＞

辻江　博三（鷺郷吟詩会）

七理　政一（鷺声吟詠会）

疋田　　稔（鷺迪吟詠会）

立花　　守（鷺郷吟詩会）

木村　豊三（鷺迪吟詠会）

小西　信子（志舟会）

西原　敏子（青誠会）

壮年の部③＜入賞者＞

都川　和子（鷺恵会）

吉谷　照子（岳豊会日高）

稲岡　　清（鷺恵会）

川角　範子（青誠会）

傘寿①の部＜入賞者＞

該当なし

傘寿②の部＜入賞者＞

中尾ヨシノ（攝友会）

齊藤　勝幹（鷺伸大阪伸友）

山田登志子（鷺恵会）

森　　増雄（鷺伸吟詠会）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

※第62回白さぎ吟詠の集い競吟大会の結果と画像は、下のQRコードをQRコードリーダーで読み取りジャンプしてご覧ください。

白鷺連合会からの連覇快挙！　吟士権者またまた誕生す☆

公益社団法人関西吟詩文化協会が主催する令和５年度全国指導者級吟士権者決定吟詩大会が令和５年12月10日（日）高槻城公園芸術文化劇場北館B1F中ホールにおいて開催されました。

今大会（令和５年度）において、【師範以上の部】で晴れて吟士権者（優勝）の栄光を手にしたのは、
承認白鷺連合会　公認「鷺照吟詠会」所属の木谷秀史（睨秀）さんです。

白鷺連合会からは、令和４年度の吟士権者「池田恍聖」さん（攝友会）に続く連覇快挙となります。

（以下は、編者が個人的にお祝いメッセージをお届けした際にご返答いただいた内容です）
岡山大学吟詩部OBの木谷秀史です。先日は、お世話になりました。
また、さっそく大先輩の塩路先生からお祝いのメールをいただき感激しています。

さて、当日は声を届けることに集中した大会でした。実際はマイクを用いた吟ですが、基本は生声を届けるという原点に立ち返り、テンポのよい流れを作って吟じるしかないと思って吟じました。今までの先輩方からのご指導を想起するとともに、岡大生への「声をしっかり出そう。」といったメッセージを届けようと心に誓った瞬間でした。

今後ともどうぞよろしくお願いします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

岡山大学吟詩部
木谷秀史（Hideshi Kitani）第31代OB　　雅号　睨秀（geisyu）

平成19年より師範として吟詩部員を指導
公益社団法人 関西吟詩文化協会 公認 鷺照吟詠会
指導部理事・企画理事・青年部長
岡山有朋支部　所属

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

QRコードリーダーで
吟士権者決定大会へジャンプ👉

令和５年度関西吟詩総本部主催　全国競吟大会における白鷺会員の成績結果

◆全国新人中間層競吟大会結果☆

日時：令和5年11月12日(日) 09時30分開会
場所：大東市立市民会館（キラリエホール）

以下敬称略

【中間層シニアの部】80歳以上
準々優勝：西出　盛藏（鷺恵会）
　入賞：北村　恭子（鷺照吟詠会）

【和歌の部】
　優　勝：奥村美智子（淞苑会）
　準優勝：中尾　　恵（鷺照吟詠会）
準々優勝：新谷　益代（鷺照吟詠会）

【新人の部】
　準優勝：新谷　益代（鷺照吟詠会）
　４　位：松本　英子（岳豊会）
　入　賞：岡　　志朗（鷺迪吟詠会）

【初級の部】
準々優勝：増田　直樹（岳豊会）
　入　賞：奥村美智子（淞苑会）
　　荒木　和枝（鷺伸吟詠会）
　　中塚　聖子（鷺恵会）

【上級の部】
　準優勝：菅沼　裕行（浜松鷺長会）
　４　位：松木　春香（鷺迪吟詠会）
　５　位：山中　寿子（鷺声吟詠会）
　７　位：今井富佐代（岳豊会）
　入　賞：佐藤　昌子（鷺照吟詠会）
　　中尾　　恵（鷺照吟詠会）
　　向井　康昭（広島鷺夕会）
　　吉本　憲二（攝友会）

◆全国指導者級吟士権者決定吟詩大会結果報告☆

日時：令和５年12月10日（日）09時30分開会
場所：高槻城公園芸術文化劇場 北館
　　中ホール・展示室・レセプションホール

【師範以上（吟士権）の部】
吟士権者：木谷　秀史（鷺照吟詠会）
準々吟士権：内座由紀葉＜鷺照吟詠会＞
　４　位：森　佳奈子＜攝友会＞
　７　位：内元　恭平＜広島鷺夕会＞
　入　賞：（プロ順）
　　井垣　義昭＜岳豊会＞
　　中山　理恵＜鷺照吟詠会＞
　　日樫　　愛＜淞苑会＞

【準師範の部】
準々優勝：川根　幾恵＜鷺照吟詠会＞
　５　位：小林　裕貴＜攝友会＞
　６　位：重光　弘子＜広島鷺夕会＞
　入　賞：（プロ順）
　　加藤　理恵＜広島鷺夕会＞

【師範代の部】
　優　勝：木許　　都＜淞苑会＞
　準優勝：山田恵美子＜春鷺声栄会＞
　入　賞：（プロ順）
　　牧　栄理子＜鷺伸吟詠会＞
　　棚田　公夫＜鷺照吟詠会＞
　　虫明　隆二＜鷺照吟詠会＞

【和歌の部】
　準優勝：山田恵美子＜春鷺声栄会＞
　５　位：尾崎　安彦＜鷺恵会＞
　入　賞：（プロ順）
　　藤原　博世＜鷺声吟詠会＞
　　上尾谷布子＜淞苑会＞
　　山本　忠昭＜広島夕朋会＞
　　森　佳奈子＜攝友会＞
　　尾上美千恵＜志舟会＞
　　伊藤　繁子＜攝友会＞
　　森　　民子＜鷺声吟詠会＞

【指導者級シニアの部】(80歳以上)
　優　勝：児玉　詔二＜春鷺声栄会＞
　６　位：小島　春江＜広島鷺夕会＞
　入　賞：（プロ順）
　　谷本　泰弘＜澄声会＞
　　田房　喜朋＜澄声会＞
　　荻野喜久子＜攝友会＞

“この大会に早朝より準備、お世話を頂きました大会委員の先生方に厚く御礼申し上げます”

令和5年白さぎ吟行会・浜松大会開催される☆

コロナ禍で３年間延期になっていた白鷺吟行会・浜松大会が開催されました。

日時：令和５年２月23日（富士山の日）

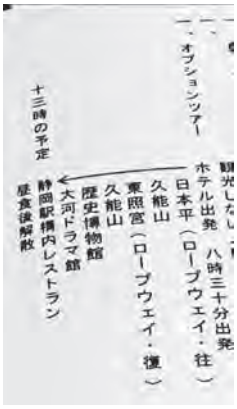
場所：静岡県焼津市　ホテルアンビア松風閣
　　コンベンションホール　富士

会員吟詠　　抜粋

楽しい懇親会の始まり始まり☆

2日目　次回の吟行会担当・広島鷺夕会さんへ
　　バトンタッチ

これから観光バスに乗って史跡探訪です☆



※令和5年白さぎ吟行会浜松大会の全貌画像は、
下のQRコードをQRコードリーダで読み取り
ジャンプしてご覧ください。

公認 鷺伸吟詠会創立60周年記念祝賀会が開催されました☆

令和5年2月19日（日）14時、名古屋金山「サイプレスガーデンホテル」において、鷺伸吟詠会創立60周年記念祝賀会が開催されました。
テーマは「伸びゆく　未来へ（のびゆく あすへ）」

公益財団法人愛知県吟剣詩舞道総連盟 事務局長 遠藤晃楓先生、大日本正義流剣舞術 宗家 多田正晃先生、ヴォックス音楽吟詠会 総本部会長 草薙典龍先生を初めとして、総本部の諸先生、東海地区連合会の各会長先生らのご来賓25名と会員含めて総勢165名が一堂に会しました。

伊東鷺伸先生が、名古屋で名古屋支部を創立して以来60年、お元気な伊東会主のお姿を拝見し、感慨ひとしおです。

来賓の先生方の御範吟を頂いた後、正義流多田正晃宗家の剣舞「本能寺」に続き、アコーディオンとパフォーマーのパフォーマンス「バラ色の人生」、12支部の白波12人女、鷺伸ボーイズの歌謡吟「伊豆丸は」と楽しい出し物が続き、万歳三唱で華やかな祝賀会はお開きとなりました。
皆様、ありがとうございました。

鷺伸吟詠会 総務部長　権田啼伸

※大日本正義流剣武術　多田正晃宗家の剣舞「本能寺」
地吟は関西吟詩正洲会　中村正瀛先生

※アコーディオンとパフォーマーのパフォーマンス
「バラ色の人生」

※鷺伸ボーイズの歌謡吟「伊豆丸は」

※ 12 支部の白波 12 人女